

世界史

解答は解答用紙の指定された場所に記入すること。

I 次の文章は、イスラーム世界の成立と発展について述べたものである。これを読んで、下の問いに答えなさい。

6世紀後半にクライシム族のハーシム家に生まれたムハンマドは、7世紀に入ると神の啓示を受けてイスラーム教をひらいた。ムハンマドの主張は、旧来の社会秩序との対立を生み出し、厳しい迫害を受けるようになった。ムハンマドと彼に従う者たちは、迫害を逃れて622年に(A)からその北方の(B)へと移住した。この移住はヒジュラ(聖遷)と呼ばれ、この年はイスラーム暦の紀元とされている。(B)で体制を整えたムハンマドは、630年に(A)を征服し、続いてアラビア半島の大部分をその支配下においた。

632年にムハンマドが没すると、その後継者としてカリフが選ばれた。イスラーム教徒たちはカリフの指導の下で、アラビア半島西方のビザンツ帝国からエジプトなどの地域を奪取し、東方ではササン朝を滅亡に追い込んだ。その後第4代カリフにアリーが選ばれると、これに不満を持つ勢力によって661年にアリーは暗殺された。アリーと対立していたシリア総督の(ア)は、ウマイヤ朝を開き(C)に都をおいて、カリフの位を世襲化した。ウマイヤ朝は、8世紀前半には東方では中央アジアやインド西北部、西方ではアフリカ北岸からジブラルタル海峡を渡ってイベリア半島にまで支配地域を拡大させた。

しかしウマイヤ朝の発展とともに、各地でその支配に対する批判が高まり、アッバース家がおこした反乱によって750年にウマイヤ朝は滅亡した。新たに成立したアッバース朝は、ウマイヤ朝にかわってカリフ位を世襲し、やがてティグリス川中流に新都(D)を建設して遷都した。(D)は交易の中心地として繁栄し、アッバース朝は第5代カリフのハールーン=アッラシードの時代に最盛期を迎えた。

ウマイヤ朝滅亡後まもなく、イベリア半島に逃れたウマイヤ家は(E)を都に後ウマイヤ朝を建てた。後ウマイヤ朝は、当初アッバース朝カリフの権威を認めていたが、10世紀に成立したファータィマ朝の君主が自らカリフを称すると、

後ウマイヤ朝の君主もカリフを称するようになった。こうしてイスラーム世界に三人のカリフが鼎立し、イスラーム世界の分裂が進んでいった。10世紀半ばになると、西北イランで勢力を拡大させたブワイフ朝が(D)に侵入し、アッバース朝カリフの存続を認めつつも政治の実権を掌握した。ブワイフ朝による支配は、1055年にセルジューク朝が(D)に入場するまでおよそ1世紀に渡って続いた。

問1 下線部(1)について、イスラーム教の説明として誤っているものを次より選びなさい。

- ① アッラーを唯一神とする一神教である。
- ② 偶像崇拜を厳しく否定し禁止している。
- ③ 『コーラン(クルアーン)』を根本聖典とする。
- ④ 東南アジア諸国ではほとんど受容されていない。

問2 下線部(2)について、ササン朝の説明として誤っているものを次より選びなさい。

- ① ヴィシヌス神を最高神とするマニ教が国教とされた。
- ② 3世紀にアルダシール1世がバルティアを破って建国した。
- ③ ティグリス川中流に位置するクテシフォンを都とした。
- ④ ホスロー1世はビザンツ帝国のユスティニアヌスと争った。

問3 下線部(3)について、アリーまでの4人のカリフは正統カリフと呼ばれる。正統カリフではない人物を次より選びなさい。

- ① アブー=バクル
- ② ウスマーン
- ③ ウマル
- ④ フワーリズミー

問4 (ア)に入る適当な人名を次より選びなさい。

- ① アイバク
- ② トウグリル=ベク
- ③ マンスール
- ④ ムアーウイヤ

問5 下線部(4)について、711年にウマイヤ朝によって滅ぼされたイベリア半島の王国を次より選びなさい。

- ① ヴァンダル王国
- ② 西ゴート王国
- ③ 東ゴート王国
- ④ マリ王国

問6 下線部(5)について、751年にアッバース朝と唐との間で起きたクラス河畔の戦いをきっかけに、唐からイスラーム世界に伝わったとされるものを次より選びなさい。

- ① 火薬
- ② 製紙法
- ③ 製鉄法
- ④ 羅針盤

問7 下線部(6)について、ハールーン-アッラシードと同時期に活躍した人物を次より選びなさい。

- ① ウラディミル1世
- ② オットー1世
- ③ カール大帝
- ④ 李世民

問8 下線部(7)について、12世紀にファーティマ朝を倒してサラフ-アッディーン(サラディン)によって建てられた王朝を次より選びなさい。

- ① アイユブ朝
- ② ガズナ朝
- ③ サーマーン朝
- ④ マムルーク朝

問9 下線部(8)について、プワイフ朝によって導入された軍人や官僚に土地の徴税権を与える制度を次より選びなさい。

- ① イクター制
- ② 恩貸地制度
- ③ 軍管区制(テマ制)
- ④ マンサブダール制

問10 下線部(9)について、セルジューク朝によるビザンツ帝国への侵入は、ヨーロッパ諸勢力による十字軍をひきおこした。十字軍の説明として誤っているものを次より選びなさい。

- ① 第1回十字軍は、教皇ウルバヌス2世によって提唱された。
- ② 第3回十字軍に、ブランタジネット朝のリチャード1世が参加した。
- ③ 第4回十字軍は、コンスタンティノープルを占領した。
- ④ 第7回十字軍は、フランス王フィリップ4世が主導した。

問11 (A) ~ (E) には都市名が入る。適当なものを次の中からそれぞれ選びなさい。

- ① アンティオキア
- ② イスファハーン
- ③ カイロ
- ④ コルドバ
- ⑤ スサ
- ⑥ ダマスクス
- ⑦ バグダード
- ⑧ マラケシュ
- ⑨ メッカ
- ⑩ メディナ

II 次の古代文明についての問いに答えなさい。

問1 古代メソポタミアの説明として正しいものを次より選びなさい。

- ① アムル人はメソポタミア南部の都市国家をはじめて統一し、スサに都を置いた。
- ② 前18世紀前半に新バビロニア(カルデア)のハンムラビ王が全メソポタミアを統一した。
- ③ シュメール人は太陰暦(太陰太陽暦)や六十進法を用いた。
- ④ ヒッタイト人は青銅器をはじめて生み出し、戦車や武器を製造した。

問2 前2千年紀後半、北メソポタミアに成立し、前14世紀にヒッタイトに敗れた国家を次より選びなさい。

- ① アッシリア王国
- ② イスラエル王国
- ③ ミタンニ王国
- ④ ユダ王国

問3 セム語系の表音文字で、のちにアルファベットへ発展したものを次より選びなさい。

- ① ウイグル文字
- ② 楔形文字
- ③ 神聖文字(ヒエログリフ)
- ④ フェニキア文字

問4 古代エジプトの説明として正しいものを次より選びなさい。

- ① エジプトの王はファラオとして専制的な神権政治をおこなった。
- ② エジプト人の宗教は太陽神オシリスを崇拜する一神教であった。
- ③ 前14世紀にアメンヘテプ4世(アクエンアテン)がティルスをもととした。
- ④ ナイル川下流域のテーベには、クフ王が築かせた巨大なピラミッドがある。

問5 南アジアの古代文明の説明として正しいものを次より選びなさい。

- ① アーリヤ人の宗教的知識をおさめた聖典は『アヴェスター』と呼ばれる。
- ② インダス文明の遺跡から発見された象形文字は解読されていない。
- ③ インダス文明の代表的な遺跡には、ハラッパーやウルがある。
- ④ 前1500年頃、パンジャブ地方にセム語系のアーリヤ人が進入した。

問6 地中海沿岸で前2000年頃に始まった、クレタ文明の中心地を次より選びなさい。

- ① クノッソス
- ② テイリス
- ③ トロイア(トロヤ)
- ④ ミケーネ

問7 ユカタン半島を中心として紀元前から長期にわたり栄えたが、16世紀にスペイン人に征服された文明を次より選びなさい。

- ① アステカ文明
- ② オルメカ文明
- ③ テオティワカン文明
- ④ マヤ文明

問8 春秋・戦国時代の諸子百家のうち、法家思想の大成者を次より選びなさい。

- ① 韓非(韓非子)
- ② 孔子
- ③ 孟子
- ④ 老子

問9 「戦国の七雄」のうち、前4世紀半ばに咸陽に都を置き、強大化した国を次より選びなさい。

- ① 秦
- ② 齊
- ③ 燕
- ④ 趙

問10 古代インドで形成された身分制度であるヴァルナにおいて第2位に位置し、武士に相当する身分を次より選びなさい。

- ① ヴァイシヤ
- ② クシャトリヤ
- ③ シュードラ
- ④ バラモン

Ⅲ 次の文章は、第一次世界大戦とその背景について述べたものである。これを読んで、下の問いに答えなさい。

19世紀になると多くの領邦が併存していたドイツ諸邦でも統一が目指された。プロイセン=オーストリア(普墺)戦争後、1867年にプロイセンを盟主とする(ア)が結成された。プロイセンに敗れたオーストリアは、ハンガリーの自立を認め、オーストリア=ハンガリー帝国(二重帝国)となった。その後1871年には、プロイセンを中心としたドイツ帝国が成立した。

20世紀初めになると、ドイツ・オーストリアは「パン=ゲルマン主義」のもとで結びつき、ドイツの強大化を警戒するイギリス・フランス・ロシア、また「パン=スラヴ主義」で結びつくロシア・セルビアと対立を深めていった。こうした状況の中で、(イ)はオスマン帝国の弱体化や帝国主義諸国の思惑も重なり、「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれるほどの、一触即発の状態にあった。

1914年、サラエヴォでオーストリア=ハンガリー帝国の帝位継承者夫婦がセルビア人青年に暗殺されたことをきっかけに、オーストリアは同盟国ドイツの支持を得て、セルビアに宣戦布告した。当初は局地的な短期の戦いで終わると考えられていたこの戦争は、各国が次々に参戦して規模が拡大し、予期せぬ長期戦となった。これが第一次世界大戦である。参戦国はイギリス・フランスを中心とする協商国(連合国)陣営とドイツを中心とした同盟国陣営に分かれて世界各地で戦闘を展開し、列強による戦時外交(秘密外交)⁽¹⁾が繰り返り広げられた。ドイツがフランスに攻め込んで発生した西部戦線では新しい兵器が投入され、長期間にわたる塹壕戦が膠着状態になり、過去に例のない規模の損害が両陣営にもたらされた。アメリカ合衆国は当初中立であったが1917年に参戦し、大統領の(ウ)は、「(エ)」を発表して戦後の世界秩序構築に高い理想を掲げた。

1917年3月、ロシアの首都ペトログラードで労働者のストライキや兵士の反乱がおこり、帝政が倒れた。自由主義者が主導する臨時政府は、言論の自由などの改革を実行する一方、戦争を継続した。しかし4月に亡命先から帰還した(オ)がボリシェヴィキを率いて武装蜂起をおこし、臨時政府を倒して社会主義国家を誕生させた。こうして成立したソヴィエト政権は、1918年3月にドイツと(カ)を結んで単独講和した。

これによりドイツは東部戦線の兵力を西部戦線に振り向けたが、アメリカ合衆

国の豊富な軍需物資に支えられた協商国側の優位を崩せず、同盟国側の国々は相次いで降伏した。ドイツでもキール軍港の水兵反乱からドイツ革命が起こり、革命後に政権を握った臨時政府が降伏した。こうして人類初の総力戦は終わり、戦後⁽¹⁴⁾に新たな国際体制が生まれた。

問1 (ア)に入る適当な語句を次より選びなさい。

- | | |
|----------|------------|
| ① 北ドイツ連邦 | ② 神聖同盟 |
| ③ ライン同盟 | ④ ドイツ民主共和国 |

問2 (イ)に入る適当な地域名を次より選びなさい。

- | | |
|---------|-----------|
| ① アルスター | ② バルカン半島 |
| ③ 南チロル | ④ ユトランド半島 |

問3 下線部(1)について、同盟国側で参戦した国を次より選びなさい。

- | | |
|----------|----------|
| ① オスマン帝国 | ② 日本 |
| ③ スペイン | ④ スウェーデン |

問4 下線部(2)について、第一次世界大戦中にイギリス・フランス・ロシアの間で交わされた秘密条約を次より選びなさい。

- | | |
|---------------|-------------|
| ① パレスチナ暫定自治協定 | ② 三国防共協定 |
| ③ ヤルタ協定 | ④ サイクス・ピコ協定 |

問5 下線部(3)について、第一次世界大戦で投入された兵器ではないものを次より選びなさい。

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| ① 機関銃 | ② 毒ガス | ③ 原子爆弾 | ④ 潜水艦 |
|-------|-------|--------|-------|

問6 (ウ)に入る適当な人名を次より選びなさい。

- | | |
|------------------|---------|
| ① フランクリン=ローズヴェルト | ② ウィルソン |
| ③ リンカン | ④ トルーマン |

問7 (エ) に入る適当な語句を次より選びなさい。

- ① 十月宣言
- ② 十四カ条
- ③ 二十一カ条の要求
- ④ 九十五カ条の論題

問8 (オ) に入る適当な人名を次より選びなさい。

- ① エリツィン
- ② トロツキー
- ③ スターリン
- ④ レーニン

問9 (カ) に入る適当な条約名を次より選びなさい。

- ① ヴェルサイユ条約
- ② スイ条約
- ③ ブレスト=リトフスク条約
- ④ ポーツマス条約

問10 下線部(4)について、第一次世界大戦後の国際体制を説明した文として

誤っているものを次より選びなさい。

- ① アルザス・ロレーヌがフランスへと割譲された。
- ② ラインラントが非武装化されることとなった。
- ③ ポーランドやバルト3国の独立が承認された。
- ④ ジュネーブに本部を置く国際連合が設立された。